

Case 6-2009. A 37-year-old woman with vertigo, facial weakness, and a generalized seizure.

N Engl J Med. 2009 Feb 19;360(8):802-9.

【Problem List】

#1. 神経症状

- #1-1. 痙攣発作（全般てんかん）
- #1-2. 数ヶ月前から持続する回転性めまい
- #1-3. 右側顔面筋力低下 #1-4. 歩行困難感
- #1-5. 耳鳴り、聴力低下、耳閉塞感 #1-6. 先行する浮動性めまいのエピソード

#2. 神経所見の異常

- #2-1. 右顔面下垂
- #2-2. 四肢の深部腱反射亢進（3+）
- #2-3. 右下肢のクローヌスと痙縮があったこと
- #2-4. 水平性眼振、追視時のサッケード運動の減弱
- #2-5. 軽度の構音障害
- #2-6. Babinski 反射陽性
- #2-7. 尖足歩行で歩幅が小さい
- #2-8. 姿勢・立位・上肢振幅の障害
- #2-9. 見当識障害（自己に対しては保たれているが、時間・場所は障害）
- #2-10. 一時的な記銘力低下

#3. 精神症状

興奮・錯乱状態で恐怖感もあったが、怒りから悲しみになるなど、経過中に多彩な精神状態の変化がみられる。

#4. 18ヶ月前からの無月経

母親からの情報。37歳女性。3人の子どもはいる。

#5. MRI 上での異常

#5-1. 脳 MRI での異常

MRI で脳軟膜や上衣、レンズ核線状体動脈、海馬、両側視神経に沿った部位、左の直回内、視交叉と松果体茎部に沿った部位、右内耳管内に、進展性で多巣性の結節の増強あり。内側側頭葉と左直回の高信号が T₂ 強調像、FLAIR 像にてみられる。

#5-2. 脊髄 MRI での異常

頸髄と脊髄円錐を巻き込む、増強された柔膜の結節あり。頸髄では硬膜まで及ぶ。

#6. CT 上での異常

#6-1. 胸腹骨盤部 CT の異常

両側肺門部ならびに縦隔のリンパ節腫脹と気管支壁の軽度肥厚、後腹膜と腸間膜のリンパ節腫脹あり。

#6-2. 副鼻腔 CT の異常

上顎洞の mild な粘膜肥厚を認め、篩骨の炎症性変化あり。

#7. 抗核抗体陽性

1:320 で speckled pattern（斑紋型）であった。

#8. コデインやペニシリンに対するアレルギーの可能性あり

#9. 飲酒・喫煙

#10. 左殿部外傷性骨折の既往

- #10-1. 左殿部痛
- #10-2. 左足可動域制限

#11. 以前から続いていた頭痛、耳痛